



令和2年7月28日

## 第4回ヨーロッパ物理オリンピック(EuPhO2020) オンライン大会への参加 および日本代表選手の成績について

公益社団法人 物理オリンピック日本委員会  
理事長 長谷川 修司

今年の国際物理オリンピック(IPhO2020, International Physics Olympiad 2020)は、2020年7月18日～26日の期間、リトアニア共和国で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の伝染拡大のために中止されました。一方、6月初めに、第4回ヨーロッパ物理オリンピック(EuPhO, European Physics Olympiad)がオンライン形式によって7月20日～26日に開催されることがアナウンスされ、IPhOに出場できなかった各国の代表選手の参加も認めるということがSNS上で発表されました。それを受け、公益社団法人物理オリンピック日本委員会(Japan Physics Olympiad, JPhO)は、IPhO2020に派遣する予定だった下記の日本代表選手5名のEuPhOへの参加を決定いたしました。その結果、2名が金メダルを、2名が銀メダルを、1名が銅メダルを獲得する好成績を挙げました。

### 第4回ヨーロッパ物理オリンピック (EuPhO2020) 日本代表選手 (五十音順)

氏名(五十音順)	性別	学校名(所在地)	学年	成績
小野 祐	男	甲陽学院高等学校(兵庫県)	3年生	金メダル
北川 陽斗	男	滝高等学校(愛知県)	3年生	銀メダル
佐々木 保昂	男	東大寺学園高等学校(奈良県)	3年生	銅メダル
辻 圭汰	男	岐阜県立岐阜高等学校(岐阜県)	3年生	金メダル
平石 雄大	男	海陽中等教育学校(愛知県)	6年生	銀メダル

EuPhOは、2017年から始まった地域型物理オリンピックで、アジア物理オリンピック(APhO)(2000年～)などとともに、IPhO(1967年～)の前哨戦として毎年開かれている国際的なコンテストです。

今年のEuPhOは、ヨーロッパ圏外から多数の参加があり、合計で57カ国から260名の高校生の選手が参加しました。7月20日(月)16:00-21:00(日本時間)に理論試験、および翌21日(火)の同時時間帯に実験試験が行われました。日本代表選手と役員は、名古屋に集合し、EuPhO本部とZoomで繋ぎ、オンライン試験監督のもとで試験を実施しました。答えは、試験終了後にスキャンして直ちにEuPhO本部に送信され、翌日、日本選手と役員は解散して帰宅しました。22日(水)～24日(金)にかけてEuPhO本部で採点が行われ、同時に日本役員も自宅で日本選手の答案のコピーを採点し、25日(土)にEuPhO本部での採点結果に対する日本選手からのアピールを受けて採点の調整が行われました。そして26日(日)19:00(日本時間)からZoomによるオンラインとYoutubeによる中継で成績発表と表彰式が行われました。

260名の参加者のうち、27名が金メダル、49名が銀メダル、60名が銅メダル、40名が入賞の成績を獲得しました。詳しくはEuPhOのホームページ<https://eupho.ee/>を参照ください。とくに今回のEuPhOで特徴的だったのは、実験試験が、コンピュータシミュレーション実験による問題となっており、従来の実験器具を使った実験とは全く異なるものでした。

国際物理オリンピック(IPhO)やヨーロッパ物理オリンピック(EuPhO)、アジア物理オリンピック(APhO)は、中等教育レベルの物理に関する国際的なコンテストです。高等教育機関就学前の主に高校生が参加し、物理学に対する興味関心と能力を高め合うとともに、国際的な交流を通じて参加国における物理教育を一層発展させることを目的として、世界各地で毎年開催されています。今年のIPhOとAPhOは新型コロナウイルス感染症

の伝染拡大のため中止となりましたが、その一方で、オンライン形式による自国での参加という特殊な形とはなりませんが **EuPhO** に日本選手が参加できました。そこで、代表選手たちが今まで培ってきた実力を発揮できたのは幸運でした。日本選手団の **EuPhO** への参加は今年限りの特例ですが、来年からは **IPhO** への参加はもちろん、その前哨戦として **APhO** にも日本代表選手役員団を派遣する予定です。

今回日本代表選手となった上記の5名の選考過程は以下の通りです。

昨年、第15回全国物理コンテスト・物理チャレンジ2019(応募者1,388名)が開催され、そこで「第1チャレンジ」(予選)で課せられた理論コンテスト(2019年7月7日に全国80余の会場で実施)、および実験課題レポート(2019年6月14日締切)の総合成績によって100名が選抜されました。その選手たちは、2019年8月17日～20日に東京理科大学野田キャンパス(千葉県)で開催された「第2チャレンジ」(本選)に臨み、その中で優秀な成績を収めた高校2年生以下の12名が日本代表選手候補者として選抜されました。

日本代表選手候補者に対して、同年9月に開催した「秋合宿」において国際物理オリンピックに向けた訓練のガイダンスと実践的基礎学習を行ったのち、電子メール等を利用した「理論問題・実験データ解析演習の通信添削」、12月末には実験実習を主体とした「冬合宿」、さらに2020年3月末には最終選考を兼ねた「春合宿」を実施し、上記の日本代表5名を決定しました。その後も**IPhO2020**本番に向けた研修を続行していましたが、**IPhO**が中止となってしまいました。しかし、上述のようにオンライン形式の**EuPhO**に参加することができました。

**IPhO**本部からの情報によると、来年の**IPhO2021**は、今年開催予定だったリトアニア共和国で開催することです。その**IPhO2021**および**APhO2021**に向けた日本代表選手候補者選考を兼ねる国内コンテスト、第16回全国物理コンテスト・物理チャレンジ2020がすでに始まっており、7月12日に「第1チャレンジ」(予選)の理論コンテストがオンラインで開催されました。「第2チャレンジ」(本選)は、本年9月20日に全国数か所の会場で分散開催する予定です。新型コロナウイルスの感染防止のため、例年と違った形式での開催となります。詳しくは、**JPhO**ホームページをご参照ください。

なお、**IPhO**本部は、**IPhO2020**リトアニア大会が2021年に繰り延べになったことに伴い、その後の開催予定が1年ずつ繰り延べになり、2022年がベラルーシ大会、2023年が日本大会となることも併せて発表しました。**IPhO2023**日本大会の準備は、一般社団法人国際物理オリンピック2023協会(会長 小林誠、<https://ipho2023.jp/>)で進められています。

<問い合わせ先> 公益社団法人 物理オリンピック日本委員会 事務局 菊池 祥子  
東京都新宿区神楽坂1-3 東京理科大学内  
TEL 03-5228-7406 FAX 03-3268-2345 info@jpho.jp <http://www.jpho.jp>